

## 新保 幸男（大学院保健福祉学研究科兼務）

### 1 著書

- 1) 新保幸男・小林理（2022）『児童家庭福祉』（中央法規出版）
- 2) 山縣文治・新保幸男（2023）『児童・家庭福祉』（全国社会福祉協議会）

### 2 学術論文

- 1) 新保幸男（2022）「児童福祉学を見つめる視点（1）：児童の最善の利益を中心として」福祉学研究会編『福祉学』第2巻第1号、31～38頁、2022年4月
- 2) 新保幸男（2022）「児童福祉学を見つめる視点（2）：家族機能の外部化を中心として」福祉学研究会編『福祉学』第2巻第2号、40～49頁、2022年8月
- 3) 新保幸男（2022）「児童福祉学を見つめる視点（3）：子どもの貧困を中心として」福祉学研究会編『福祉学』第2巻第3号、51～55頁、2022年10月
- 4) 新保幸男（2022）「児童福祉学を見つめる視点（4）：供給体制論を中心として」福祉学研究会編『福祉学』第2巻第4号、57～71頁、2022年12月

### 4 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 日本社会福祉学会（査読委員）
- 2) 日本保健福祉学会（理事）
- 3) 日本子ども家庭福祉学会（監事、査読委員）
- 4) 日本キリスト教社会福祉学会（大会実行委員）
- 5) 神奈川県「子ども・子育て支援推進協議会」（会長）
- 6) 厚生労働省「社会保障審議会」（臨時委員）
- 7) 厚生労働省「社会保障審議会児童部会ひとり親家庭への支援施策の在り方に関する専門委員会」（委員長代理）
- 8) 厚生労働省「ひとり親家庭等自立促進基盤事業評価委員会」（委員長）
- 9) 厚生労働省「はたらく母子家庭・父子家庭応援企業等の表彰審査委員会」（委員長）
- 10) 厚生労働省「ひとり親の就業支援に関する調査研究委員会」（委員）
- 11) 厚生労働省「ひとり親家庭等の子どもの食事等支援事業審査委員会」（委員長）
- 12) 厚生労働省「養育費・面会交流相談支援センター事業に係る技術提案書評価委員会」（委員長）
- 13) 内閣府「子供の貧困対策に関する有識者会議」（副座長）
- 14) 内閣府「子供・若者育成支援のための有識者会議」（構成員）
- 15) 東京都「児童福祉審議会」（副委員長）
- 16) 東京都「ひとり親家庭自立支援計画策定委員会」（副委員長）
- 17) 横浜市「就学奨励対策審議会」（委員）
- 18) 市原市「子ども・若者の貧困対策」（アドバイザー）
- 19) 財団法人鉄道弘済会『社会福祉研究』（査読委員）
- 20) 社会福祉法人横浜市社会福祉協議会「苦情解決調整委員会」（委員）
- 21) 公益財団法人児童育成協会「企業主導型保育事業審査会」（委員長）
- 22) 公益財団法人児童育成協会「事業譲渡審査委員会」（委員長）

- 23) 財団法人養育費相談支援センター「運営会議」(委員)
- 24) 社会福祉法人横須賀基督教社会館「評議員会」(評議員)

## 5 社会貢献

- 1) 「ソフトバンク 5G コンソーシアム」(会員)として社会インフラについて関連業界の方々との交流を行っている。
- 2) 「三菱総合研究所 未来共創イニシアティブ」(会員)として未来共創について関連業界の方々との交流を行っている。
- 3) 「富士通」との間で、「データ連携事業」について意見交換を行った。
- 4) 出張講義「ヒューマンサービスについて」。神奈川県立二俣川看護福祉高等学校にて、高校1年生及び2年生、計36人に対して対面で講義を行った。2022年6月3日。
- 5) 出張講義「社会福祉学について」、神奈川県立厚木東高等学校にて、高校1年生及び2年生、計50人に対して対面で講義を行った。2022年7月21日。
- 6) オープンキャンパスで受験生などからの相談に応じた。
- 7) 神奈川県保育会との交流を行っている。
- 8) 神奈川県立鎌倉高校からの依頼に基づいて、高校2年生に対して、児童虐待についての研究指導を実施した。
- 9) 「神奈川県」との間で、「子どもの権利擁護」について意見交換を行った。

## 6 講演, 放送

- 1) 内閣官房「第5回こども政策の強化に関する関係府省会議」において政策提案を行った。2023年3月28日、総理官邸。
- 2) 全国社会福祉協議会中央福祉学院にて社会福祉専門職に対する講演「児童家庭福祉」を行った。
- 3) 東京都 社会的養護専門職基幹的職員研修において、「子どもの権利擁護」「日常的なケア」「アセスメント」「家族支援とソーシャルワーク」の講師をつとめた。2022年7月4日(COVID-19対応のためZoomで研修を行なった)
- 4) 東京都 社会的養護分野における職員研修において、「社会的養護を取り巻く現状」の講師をつとめた。(COVID-19対応のためZoom録画での講演を行なった)
- 5) 全国社会福祉協議会中央福祉学院にてファミリーソーシャルワーカーに対する講演「親子関係再構築に向けた行政機関との連携」を行なった。2023年1月30日
- 6) 全国社会福祉協議会中央福祉学院にて社会福祉専門職に対する講演「児童家庭福祉」(COVID-19対応のため録画での講演を行なった)
- 7) 全国社会福祉協議会中央福祉学院の児童福祉司資格認定講習会において、講演「児童家庭福祉」を行なった。
- 8) 東京都 社会的養護専門職スーパーバイザー研修において、「チームリーダーとスーパービジョン」の講師をつとめた。(COVID-19対応のためZoomで研修を行なった)
- 9) 市原市役所において、講演「ソーシャルワークの基礎」を市役所職員向けを行い、その後で意見交換の時間を持った。2022年9月30日。
- 10) テレビ神奈川「tvk ニュース」及び「News Link」に出演し、「児童への身体的虐待による死亡事例。児童相談所の支援のあり方や今後への課題とは」についてコメントした。

2022年9月13日。

- 11) テレビ神奈川の「News Link」に出演し「厚木市2児死亡事件に関する児童相談所の対応検証の第三者委員会設置」についてお話しした。2022年11月16日。
- 12) テレビ神奈川の「News Link」に出演し「車中放置による熱中症2児死亡判決」で指摘された『未熟さ』についてコメントした。2023年3月15日。
- 13) 子ども食堂にかかわる事項について、報道機関からの取材に応じた。
- 14) コロナ渦における生活支援について、報道機関からの取材に応じた。
- 15) 児童虐待に関することについて、報道機関からの取材に応じた。
- 16) 特別養子縁組について、報道機関からの取材に応じた。
- 17) 子どもの貧困対策にかかわる事項について、報道機関からの取材に応じた。
- 18) その他福祉にかかわる事項について、報道機関からの取材依頼に応じた。

## 7 学会等での活動

- 1) 新保幸男(2022)「ヒューマンサービスに関する考察：ミッションとして取り組んだ20年間を踏まえた中間報告として」『2022年度日本キリスト教社会福祉学会研究報告要旨集』
- 2) 新保幸男・打越友実・赤木拓人・小林理(2022)「子ども食堂の多機能性に関する考察：福祉避難所とグループホーム」『2022年度日本子ども家庭福祉学会研究報告要旨集』オンライン、2022年6月12日。
- 3) 小林理・赤木拓人・打越友実・新保幸男(2022)「社会的養護における人材育成の課題：全国調査にみる人材背景の多様性を中心として」『2022年度日本子ども家庭福祉学会研究報告要旨集』オンライン、2022年6月12日。
- 4) 打越友実・小林理・赤木拓人・新保幸男(2022)「虐待通告をめぐる倫理的ジレンマにおける価値・倫理の位置づけ：Dolgoffら(2012)の定義を中心として」『2022年度日本子ども家庭福祉学会研究報告要旨集』オンライン、2022年6月12日。
- 5) 赤木拓人・打越友実・小林理・新保幸男(2022)「国外での代理懐胎により生まれた子との特別養子縁組：子の利益のための特別の必要性を中心に」『2022年度日本子ども家庭福祉学会研究報告要旨集』オンライン、2022年6月12日。
- 6) 新保幸男・打越友実・赤木拓人・小林理(2022)「福祉避難所と子ども食堂」2022年度日本保健福祉学会研究報告要旨集』オンライン、2022年10月1日。
- 7) 新保幸男(2022)「(基調講演)児童福祉と年齢：2022年児童福祉法改正(案)と2022年改正少年法施行」『福祉学研究会第21回学術集会要旨集』2～4頁、2021年4月11日。
- 8) 新保幸男(2022)「サラ・コーファックス事例の検討(2)」『福祉学研究会第21回学術集会要旨集』20～21頁、2022年4月11日。
- 9) 新保幸男(2022)「(基調講演)ヒューマンサービスに関する考察(5)」『福祉学研究会第22回学術集会要旨集』2～5頁、2022年4月25日。
- 10) 新保幸男(2022)「子ども食堂が持ちうる多機能性に関する検討：福祉避難所やグループホームとの併設」『福祉学研究会第22回学術集会要旨集』12～13頁、2022年4月25日。
- 11) 新保幸男(2022)「(基調講演)2022年児童福祉法改正案の背景について」『福祉学研究会第23回学術集会要旨集』2～21頁、2022年5月9日。
- 12) 新保幸男(2022)「子どもの生活状況に関する研究(6)」『福祉学研究会第23回学術集会

要旨集』32～34頁、2022年5月9日。

- 13) 新保幸男 (2022) 「(基調講演) 2022年子ども家庭庁設置法案について」『福祉学研究会第24回学術集会要旨集』2～10頁、2022年5月23日。
- 14) 新保幸男 (2022) 「ヒューマンサービスに関する検討(1):『全人的対応』を中心として」『福祉学研究会第24回学術集会要旨集』22～23頁、2022年5月23日。
- 15) 新保幸男 (2022) 「(基調講演) 2022年子ども基本法について」『福祉学研究会第25回学術集会要旨集』2～6頁、2022年6月13日。
- 16) 新保幸男 (2022) 「コロナ禍におけるフードバンクの対応:食のセーフティネットを重視したフードバンク山梨」『福祉学研究会第25回学術集会要旨集』22～27頁、2022年6月13日。
- 17) 新保幸男 (2022) 「(基調講演) 2022年子ども基本法における『こどもの意見表明』について」『福祉学研究会第26回学術集会要旨集』2～3頁、2022年6月27日。
- 18) 新保幸男 (2022) 「児童福祉学に関する考察(1)」『福祉学研究会第26回学術集会要旨集』22～39頁、2022年6月27日。
- 19) 新保幸男 (2022) 「(基調講演)『こどもの意見を聴く人』について」『福祉学研究会第27回学術集会要旨集』2頁、2022年7月11日。
- 20) 新保幸男 (2022) 「児童福祉学に関する考察(2)」『福祉学研究会第27回学術集会要旨集』33～42頁、2022年7月11日。
- 21) 新保幸男 (2022) 「(基調講演) こどもの意見を聴くために(1)」『福祉学研究会第28回学術集会要旨集』2頁、2022年7月25日。
- 22) 新保幸男 (2022) 「児童福祉学に関する考察(3)」『福祉学研究会第28回学術集会要旨集』13～17頁、2022年7月25日。
- 23) 新保幸男 (2022) 「(基調講演) こどもの意見を聴くために(2)」『福祉学研究会第29回学術集会要旨集』2～3頁、2022年8月8日。
- 24) 新保幸男 (2022) 「児童福祉学に関する考察(4)」『福祉学研究会第29回学術集会要旨集』21～34頁、2022年8月8日。
- 25) 新保幸男 (2022) 「(基調講演) こどもの意見を聴くために(3)」『福祉学研究会第30回学術集会要旨集』2～3頁、2022年8月22日。
- 26) 新保幸男 (2022) 「児童福祉学に関する考察(5)」『福祉学研究会第30回学術集会要旨集』18～20頁、2022年8月22日。
- 27) 新保幸男 (2022) 「(基調講演) 鶴見区児童虐待死亡事件について」『福祉学研究会第31回学術集会要旨集』2～6頁、2022年9月12日。
- 28) 新保幸男 (2022) 「児童虐待への対応に関する検討(1)」『福祉学研究会第31回学術集会要旨集』16～17頁、2022年9月12日。
- 29) 新保幸男 (2022) 「(基調講演) 一般職公務員へのソーシャルワーク入門」『福祉学研究会第32回学術集会要旨集』2～4頁、2022年9月26日。
- 30) 新保幸男 (2022) 「児童虐待への対応に関する検討(2)」『福祉学研究会第32回学術集会要旨集』10～11頁、2022年9月26日。
- 31) 新保幸男 (2022) 「(基調講演) 児童福祉社とソーシャルワーク」『福祉学研究会第33回学術集会要旨集』2～3頁、2022年10月10日。
- 32) 新保幸男 (2022) 「児童虐待への対応に関する検討(3)」『福祉学研究会第33回学術集会

- 要旨集』24～27頁、2022年10月10日。
- 33) 新保幸男 (2022) 「(基調講演)全世代型社会保障をめぐる課題 (1)」『福祉学研究会第34回学術集会要旨集』2頁、2022年10月24日。
  - 34) 新保幸男 (2022) 「子どもの貧困対策に関する検討 (1)」『福祉学研究会第34回学術集会要旨集』52～54頁、2022年10月24日。
  - 35) 新保幸男・小林理・打越友実 (2022) 「(シンポジウム) 福祉専門職の人材育成についての課題 (2)」『福祉学研究会第34回学術集会要旨集』55頁、2022年10月24日。
  - 36) 新保幸男 (2022) 「(基調講演)全世代型社会保障をめぐる課題 (2)」『福祉学研究会第35回学術集会要旨集』2頁、2022年11月14日。
  - 37) 新保幸男 (2022) 「子どもの貧困対策に関する検討 (2)」『福祉学研究会第35回学術集会要旨集』16～17頁、2022年11月14日。
  - 38) 新保幸男・小林理・打越友実 (2022) 「(シンポジウム) 福祉専門職の人材育成についての課題 (3)」『福祉学研究会第35回学術集会要旨集』18頁、2022年11月14日。
  - 39) 新保幸男 (2022) 「(基調講演) ヒューマンサービスに関する考察 (6)」『福祉学研究会第36回学術集会要旨集』2頁、2022年11月28日。
  - 40) 新保幸男 (2022) 「ヒューマンサービスに関する検討 (2):『パラダイム』であることを中心として」『福祉学研究会第36回学術集会要旨集』20～21頁、2022年11月28日。
  - 41) 新保幸男・小林理・打越友実 (2022) 「(シンポジウム) 福祉学研究における当面の課題」『福祉学研究会第36回学術集会要旨集』22頁、2022年11月28日。
  - 42) 新保幸男 (2022) 「(基調講演) Social work Values and Ethics について (1)」『福祉学研究会第37回学術集会要旨集』2頁、2022年12月12日。
  - 43) 新保幸男 (2022) 「Social work Values and Ethics に関する検討 (1)」『福祉学研究会第37回学術集会要旨集』27～29頁、2022年12月12日。
  - 44) 新保幸男・小林理・打越友実・赤木拓人 (2022) 「(シンポジウム) 福祉学研究における当面の課題 (2)」『福祉学研究会第37回学術集会要旨集』30頁、2022年12月12日。
  - 45) 新保幸男 (2022) 「(基調講演) 子ども家庭庁について (1)」『福祉学研究会第38回学術集会要旨集』2頁、2022年12月26日。
  - 46) 新保幸男 (2022) 「子どもの貧困対策に関する検討 (3)」『福祉学研究会第38回学術集会要旨集』24～27頁、2022年12月26日。
  - 47) 新保幸男・小林理・打越友実・赤木拓人 (2022) 「(シンポジウム) 福祉学研究における当面の課題 (3)」『福祉学研究会第38回学術集会要旨集』28頁、2022年12月26日。
  - 48) 新保幸男 (2023) 「(基調講演) 研究体制に関する検討 (1)」『福祉学研究会第39回学術集会要旨集』2頁、2023年1月9日。
  - 49) 新保幸男 (2023) 「子どもの貧困対策に関する検討 (4)」『福祉学研究会第39回学術集会要旨集』28～32頁、2023年1月9日。
  - 50) 新保幸男・小林理・打越友実・赤木拓人・前山飛鳥 (2023) 「(シンポジウム) 福祉学研究における当面の課題 (3)」『福祉学研究会第39回学術集会要旨集』33頁、2023年1月9日。
  - 51) 新保幸男 (2023) 「児童福祉学に関する考察 (2)」『子ども家庭福祉研究会要旨集』1～13頁、2023年1月21日。
  - 52) 新保幸男 (2023) 「(基調講演) こども家庭庁の組織について」『福祉学研究会第40回学術集会要旨集』2頁、2023年1月21日。

術集会要旨集』2～5頁、2023年1月23日。

- 53) 新保幸男 (2023) 「児童福祉学の検討 (1)」『福祉学研究会第40回学術集会要旨集』40～42頁、2023年1月23日。
- 54) 新保幸男・小林理・打越友実・赤木拓人 (2023) 「(シンポジウム) 福祉学研究における当面の課題 (4)」『福祉学研究会第40回学術集会要旨集』43頁、2023年1月23日。
- 55) 新保幸男 (2023) 「(基調講演) こども基本法と2023年度予算」『福祉学研究会第41回学術集会要旨集』2～29頁、2023年2月13日。
- 56) 新保幸男 (2023) 「児童虐待への対応に関する検討: 保育所・区役所・児童相談所の関係を中心として」『福祉学研究会第41回学術集会要旨集』65頁、2023年2月13日。
- 57) 新保幸男・小林理・打越友実・赤木拓人 (2023) 「(シンポジウム) 福祉学研究における当面の課題 (6)」『福祉学研究会第41回学術集会要旨集』66頁、2023年2月13日。
- 58) 新保幸男 (2023) 「(基調講演) こどもデータ連携実証について」『こども家庭研究会第1回学術集会要旨集』2～29頁。
- 59) 新保幸男 (2023) 「こどもの意見表明に関する検討」『こども家庭研究会第1回学術集会要旨集』30～32頁。
- 60) 新保幸男 (2023) 「(基調講演) こども家庭審議会の組織について」『福祉学研究会第42回学術集会要旨集』2～3頁、2023年2月27日。
- 61) 新保幸男 (2023) 「子育て支援についての検討 (1)」『福祉学研究会第42回学術集会要旨集』14～16頁、2023年2月27日。
- 62) 新保幸男・小林理・打越友実 (2023) 「(シンポジウム) 福祉学研究における当面の課題 (7)」『福祉学研究会第42回学術集会要旨集』17頁、2023年2月27日。
- 63) 新保幸男 (2023) 「(基調講演) データ連携と妊娠届出書」『福祉学研究会第43回学術集会要旨集』2～6頁、2023年3月12日。
- 64) 新保幸男 (2023) 「未婚ひとり親家庭支援と妊娠届出書」『福祉学研究会第43回学術集会要旨集』52～55頁、2023年3月12日。
- 65) 新保幸男・小林理・打越友実 (2023) 「(シンポジウム) 福祉学研究における当面の課題 (8)」『福祉学研究会第43回学術集会要旨集』56頁、2023年3月13日。
- 66) 新保幸男 (2023) 「(基調講演) こどもデータ連携実証について (2)」『こども家庭研究会第2回学術集会要旨集』2～4頁。
- 67) 新保幸男・打越友実・高橋かずみ・二宮知康・古山智 (2023) 「(シンポジウム) こどもかてい研究における当面の課題 (2)」『こども家庭研究会第2回学術集会要旨集』5頁。
- 68) 新保幸男 (2023) 「(基調講演) ひとり親家庭支援における政策課題」『福祉学研究会第44回学術集会要旨集』2頁、2023年3月26日。
- 69) 新保幸男 (2023) 「ひとり親家庭支援における相談支援体制について」『福祉学研究会第44回学術集会要旨集』24～46頁、2023年3月26日。
- 70) 新保幸男・小林理・打越友実 (2023) 「(シンポジウム) 福祉学研究における当面の課題 (9)」『福祉学研究会第44回学術集会要旨集』47頁、2023年3月26日。

## 8 学内教育活動

- 1) 大学院博士後期課程の大学院生2名の研究指導を担当した。
- 2) 大学院博士後期課程の大学院生1名の博士論文審査会において主査をつとめた。

- 3) 大学院博士後期課程の大学院生 1 名の博士論文審査会において副査をつとめた。
- 4) 大学院博士後期課程の大学院生 1 名の博士論文予備審査会において主査をつとめた。
- 5) 大学院博士後期課程の大学院生 1 名の博士論文予備審査会において副査をつとめた。
- 6) 大学院博士後期課程の大学院生 1 名の博士論文研究計画発表会において指導教授として司会をつとめた。
- 7) 大学院博士後期課程「児童福祉学特論」(15 回) について、科目責任者として全ての回を担当した。
- 8) 大学院博士後期課程「児童福祉学演習」(15 回) について、科目責任者として全ての回を担当した。
- 9) 大学院博士前期課程の大学院生 1 名の研究指導を担当した。
- 10) 大学院博士前期課程「社会福祉原論」(15 回) について、科目責任者として全ての回を担当した。
- 11) 大学院博士前期課程「社会福祉調査研究方法論」(15 回) について、科目責任者として全ての回を担当した。
- 12) 学部 4 年次の象徴科目「ヒューマンサービス論Ⅱ」の授業 8 回のうち 7 回を担当した。
- 13) 学部 4 年次「社会福祉専門演習Ⅱ」において 5 名のゼミ生への指導を行った。
- 14) 学部 3 年次「社会福祉専門演習Ⅰ」において 6 名のゼミ生への指導を行った。
- 15) 学部 3 年次の必修科目である「ソーシャルワーク実習Ⅱ」において 6 名の学生を担当した。
- 16) 学部 3 年次の必修科目である「ソーシャルワーク実習指導Ⅱ」において 6 名の学生を指導した。
- 17) 学部 2 年次の必修科目「児童福祉論」(15 回) について、科目責任者として全ての回を担当した。
- 18) 学科で実施している社会福祉士国家試験対策講座において「児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度」を担当した。
- 19) 文部科学省の SSH (スーパー・サイエンス・ハイスクール) 事業の受入研究者として神奈川県立横須賀高校の 1 年生 7 名を担当し、児童虐待に関する研究の企画、実施、報告に関する研究指導を 10 回実施した。

## 9 学内各種委員会活動

- 1) 保健福祉学研究科入試委員会 (委員長)
- 2) 保健福祉学研究科運営会議 (運営委員)
- 3) 保健福祉学研究科運営会議カリキュラム等検討委員会(委員)
- 4) 全学入試委員会(委員)
- 5) 内部質保証推進部会(委員)
- 6) 昇任審査委員会(委員)
- 7) 教員採用面接(担当者)
- 8) 社会福祉学科人事小委員会 (委員)
- 9) 社会福祉学科ソーシャルワーク実習担当者会議 (担当者)
- 10) ヒューマンサービス研究会に「ヒューマンサービスⅡ」担当者として出席した。

## 高橋 恭子（大学院保健福祉学研究科兼務）

### 1 著書

- 1) 高橋恭子（2023）「第10章 医療ソーシャルワーカーの歴史」小原真知子・今野広紀・竹本与志人編著『保健医療と福祉 第2版』ミネルヴァ書房、148-156.
- 2) 高橋恭子（2023）「第2章第4節 専門職倫理と倫理的ジレンマ」『社会福祉学習双書』編集委員会編『ソーシャルワークの基盤と専門職』全国社会福祉協議会、67-74.
- 3) 高橋恭子（2023）「第4章第1節 ソーシャルワーク前史」『社会福祉学習双書』編集委員会編『ソーシャルワークの基盤と専門職』全国社会福祉協議会、142-154.

### 2 論文

- 1) 橋本萌子、高橋恭子、大島憲子（2023）「特別養護老人ホームにおいて看取りをした家族の満足感に影響を及ぼした経験」『神奈川県立保健福祉大学誌』20巻第1号、3-12.

### 3 その他の著作

- 1) 高橋恭子（2023）「解説（戦前編）」日本保健医療社会福祉学会 椋野美智子・高橋恭子・高山恵理子・内藤雅子編『編集復刻版 医療ソーシャルワーカー関係資料集成』第三巻、1981年～2012年、六花出版、2-9.
- 2) 日本保健医療社会福祉学会 椋野美智子・高橋恭子・高山恵理子・内藤雅子編（2022）『編集復刻版医療ソーシャルワーカー関係資料集成』第一巻、1920年～1952年、六花出版.
- 3) 日本保健医療社会福祉学会 椋野美智子・高橋恭子・高山恵理子・内藤雅子編（2022）『編集復刻版医療ソーシャルワーカー関係資料集成』第二巻、1952年～1980年、六花出版.
- 4) 日本保健医療社会福祉学会 椋野美智子・高橋恭子・高山恵理子・内藤雅子編（2022）『編集復刻版医療ソーシャルワーカー関係資料集成』第三巻、1981年～2012年、六花出版.

### 4 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) かながわ人権政策推進懇話会委員.
- 2) 日本社会福祉学会、機関誌『社会福祉学』査読委員.
- 3) 日本保健医療社会福祉学会、査読委員.
- 4) 日本保健医療社会福祉学会、医療ソーシャルワーク資料集編纂委員会委員.
- 5) 日本医療ソーシャルワーカー協会、研修統括部委員.
- 6) 日本医療ソーシャルワーカー協会、保健医療分野におけるソーシャルワーク専門研修課題作成及び採点担当.
- 7) 神奈川県医療ソーシャルワーカー協会、実習指導委員会委員.

### 5 社会貢献

- 1) 高校教員説明会、学科説明 2022. 6.
- 2) 系統別説明会（福祉学）、横須賀市立横須賀総合高校 2022. 6.
- 3) オープンキャンパス相談担当、2022. 8.
- 4) ミニオープンキャンパス相談担当、2023. 3.
- 5) 性暴力対応ネットワーク StaRT かながわ事務局長.



5) KSW の会スーパーバイザー.

## 6 講演, 放送

- 1) 神奈川県立保健福祉大学実習指導者養成教育 (社会福祉士実習指導者講習会)「ソーシャルワークの本質としてのヒューマンサービスの理解」 2022. 6.
- 2) ソーシャルワークの視点をもった教員の養成研修「ヒューマンサービス論・ソーシャルワーク論」神奈川県教育委員会、2022. 7.
- 3) ウィリング横浜主催研修「新たな発見を生む事例検討の進め方～リフレクティング・プロセスを用いて～」2022. 9.

## 7 学会等での活動

- 1) 高橋恭子、佐々木正成、松田幸久、和田智明 (2022) 座談会「神奈川県医療ソーシャルワーカー協会と私」医療ソーシャルワーク 2022 座談会座長 2023. 1.

## 8 学内教育活動

- 1) 学生サークル「Child Wish」顧問.
- 2) 学生サークル「バスケットボール部」顧問.
- 3) 学部担当科目「医療福祉論」「社会福祉の歴史」「ヒューマンサービス論Ⅰ」「ソーシャルワーク演習Ⅰ」「ソーシャルワーク演習Ⅱ」「ソーシャルワーク実習」「ソーシャルワーク実習指導Ⅰ」「ソーシャルワーク実習指導Ⅱ」「社会福祉専門演習Ⅰ」「社会福祉専門演習Ⅱ」「卒業研究」「社会福祉専門実習」.
- 4) 大学院担当科目「ソーシャルワーク特論Ⅳ」「ヒューマンサービス特論・演習」「社会福祉特別演習」「社会福祉学特別研究」「がん看護学特論Ⅳ」「医療社会福祉実践・政策特論」「医療社会福祉実践・政策演習」「保健福祉学特別研究」.
- 5) 国家試験対策講座担当科目「保健医療サービス」.
- 6) 実践教育センター担当科目「社会福祉学」

## 9 学内各種委員会活動

- 1) 社会福祉学科長.
- 2) 教育研究審議会委員.
- 3) 学長補佐会議委員.
- 4) 総務・企画委員会委員.
- 5) 学科長会議委員.
- 6) 地域貢献研究センター運営会議委員.
- 7) COI (利益相反) 委員会委員.
- 8) 第二次将来構想検討委員会委員.
- 9) 内部質保証推進部会委員.
- 10) 20周年記念事業企画会議委員.
- 11) 入試問題の在り方に関する検討会議委員.
- 12) 社会福祉学科実習委員会責任者.

## 11 学内研究助成金の受託

- 1) 渡邊恵研究代表者，長島俊輔，加藤木真史，佐々木杏子，森朱輝，水戸優子，藤田峰子，長山洋史，池田公平，黒澤千尋，五味郁子，樋口良子，福岡梨紗，玉川淳，高橋恭子，岸川学，志村華絵. 事例提供ツールとしての模擬電子カルテの開発と導入～多職種連携能力育成を意図した事例学習プログラムの検討と教育評価～. 令和4年度学長推薦研究費，2,500千円，2022.7.19～2023.3.31.

## 玉川 淳（大学院保健福祉学研究科兼務）

### 1 著書

- 1) 藤本健太郎, 藤本真理, 玉川淳. (2023). 働く人のための社会保障入門. ミネルヴァ書房

### 2 学術論文

- 1) 玉川淳. (2023). 医療計画と医療提供体制. 社会保障法研究, 第 15 号, 3 - 32.

### 4 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 横須賀市児童福祉審議会委員 (子ども育成分科会会長). 2020.4～
- 2) 横須賀市社会福祉審議会委員 (福祉専門分科会会長) 2022.4～
- 3) 社会福祉振興・試験センター介護支援専門員実務研修受講試験委員会委員 (幹事委員). 2020.4～
- 4) 日本看護協会看護師の生涯学習の推進に関する検討委員会委員. 2022.8～
- 5) 日本看護協会日本看護サミット 2023 実行委員会委員. 2023.1～
- 6) ヒューマンサービス学会, 理事. 2023.3～

### 6 講演, 放送

- 1) ヒューマンサービス公開講座 (秋期), ヒューマンサービスと地域共生社会, 2022.10.22

### 7 学会等での活動

- 1) 玉川淳. 医療計画と医療提供体制. 東京社会保障法研究会 (オンライン), 研究報告. 2022.7.16
- 2) 玉川淳. 医療計画と医療提供体制. 関西社会保障法研究会 (オンライン), 研究報告. 2022.9.10
- 3) ヒューマンサービスシンポジウム, ヒューマンサービスの実践 - 20 年の省察とこれからの展望 -, 司会. 第 12 回ヒューマンサービス研究会, 2022.10.31

### 8 学内教育活動

#### 1) 学部

人権・ジェンダー, 地域保健医療福祉連携論, ヒューマンサービス総合演習 (教材の収載事例の全面的見直しを実施), 保健福祉行政論、福祉行財政と福祉計画 (分担), 社会福祉専門演習 I, 社会福祉専門演習 II, 卒業研究

#### 2) 大学院

ヒューマンサービス特論・演習, 人事管理・育成論, 保健福祉行政特論 (分担), ヒューマンサービス特講 (SHI)

- 3) 社会福祉士国家試験対策講座, 福祉行財政. 2022.12.14
- 4) 公務員受験講座, 公務員となるためには. 2022.6.9

9 学内各種委員会活動

- 1) 人権・倫理委員会, 2021.4～
- 2) ヒューマンサービス委員会, 2021.4～

11 学内研究助成金の受託

- 1) 渡邊 恵研究代表者, 長島 俊輔, 加藤木 真史, 佐々木 杏子, 森 朱輝, 水戸 優子, 藤田 峰子, 長山 洋史, 池田 公平, 黒澤 千尋, 五味 郁子, 樋口 良子, 福岡 梨紗, 玉川 淳, 高橋 恭子, 岸川 学, 志村 華絵. 事例提供ツールとしての模擬電子カルテの開発と導入～多職種連携能力育成を意図した事例学習プログラムの検討と教育評価～. 令和 4 年度学長推薦研究費, 2,500 千円, 2022.7.19～2023.3.31.

## 中村 美安子 (大学院保健福祉学研究科兼務)

### 2 学術論文

- 1) 中村美安子, 大原一興, 藤岡泰寛. (2023). 地区社会福祉協議会における空き家を活用した活動拠点の現状—市町村社会福祉協議会調査から—, 神奈川県立保健福祉大学誌, 20 (1), 61-69

### 3 その他の著作

- 1) 中村美安子. (2022). 神奈川県版活動強化方策のポイント・活用. 民児協だより. NO.149. 4. 神奈川県民生委員児童委員協議会. 2022.6
- 2) 中村美安子. (2022). 民生委員・児童委員活動、民児協活動における‘つなぐ’役割—地域共生社会と民生委員・児童委員活動. 単位民児協会長のための情報誌 View225 号. 2 - 4. 全国民生委員児童委員連合会. 2022.9
- 3) 中村美安子. (2022). 民生委員事例へのコメント. 単位民児協会長のための情報誌 View225 号. 6 - 9. 全国民生委員児童委員連合会. 2022.9

### 4 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 厚生労働省社会・援護局. 社会福祉推進事業評価委員会委員. 2011.9～
- 2) 厚生労働省高齢者雇用対策課. 生涯現役地域づくり普及促進事業 有識者委員会 委員 (事務局: 株式会社シード・プランニング). 2022.9～2023.3
- 3) 厚生労働省社会・援護局地域福祉課. ひきこもり地域支援センター職員等への人材養成研修・広報一式に係る技術審査委員 2023.3～
- 4) 横浜市. 福祉のまちづくり推進会議副委員長. 2013.7.～
- 5) 横浜市. 介護保険運営協議会委員. 2018.8～
- 6) 横浜市. 福祉のまちづくり推進会議小委員会副委員長. 2022.3～
- 7) 横浜市. 福祉のまちづくり推進会議専門委員会委員 2023.3～
- 8) 横浜市. よこはま多世代・地域交流型住宅整備・運営選定等委員会委員. 2021.6～
- 9) 全国民生委員児童委員連合会. 地域福祉推進部会委員. 2011.5～
- 10) 全国民生委員児童委員連合会. 市区町村民生委員児童委員協議会・法定単位民生委員児童委員協議会活動実態調査準備委員会委員. 2022.3～
- 11) (福) 横須賀市社会福祉協議会. 日常生活自立支援事業審査会委員. 2013.4～
- 12) (福) 横須賀市社会福祉協議会. よこすか市民後見人等運営事業推進会議委員. 2019.4～2023.3
- 13) (福) 大和市社会福祉協議会. 地域福祉活動計画推進委員会委員. 2013.9～
- 14) (福) 狛江市社会福祉協議会. 地域福祉活動計画策定委員会副委員長. 2016.6.～
- 15) (福) 狛江市社会福祉協議会. コミュニティサーシャルワークアドバイザー. 2018.4～
- 16) (福) 横浜市福祉サービス協会. 理事 2019.6～
- 17) (福) 神奈川県民生委員児童委員協議会. 総合企画委員会委員. 2020.11～2023.3

### 5. 社会貢献

- 1) オープンキャンパスにおいて相談を担当した。2022.8

- 2) 社会福祉学科主催 実践交流フォーラム「地域共生社会と社会福祉～社会福祉のイノベーションに向けて」において、企画、広報、実践報告者依頼及び当日の実践報告の進行とまとめを担当した。2022.6

## 6 講演, 放送

- 1) 横須賀市民生委員児童委員協議会主催 役員研修会において民生委員児童委員活動の在り方に関し講義を行った。2023.1
- 2) 全国社会福祉協議会中央福祉学院主催 社会福祉主事資格認定通信課程春期コース第10回集合研修において地域福祉論の講義を行った。2023.1
- 3) 全国社会福祉協議会中央福祉学院主催 社会福祉主事資格認定通信課程秋期コース第3回集合研修において地域福祉論の講義を行った。2023.2
- 4) 全国社会福祉協議会中央福祉学院主催 社会福祉主事資格認定通信課程民間秋期コース第5回集合研修において地域福祉論の講義を行った。2023.3
- 5) 全国社会福祉協議会中央福祉学院主催 社会福祉主事資格認定通信課程秋期コース第7回集合研修において地域福祉論の講義を行った。2023.3

## 8 学内教育活動

- 1) 令和4年度社会福祉士国家試験対策講座において「地域福祉論」「社会福祉行財政と福祉計画」の国家試験対策資料作成及び講師

## 9 学内各種委員会活動

- 1) 広報委員会 委員長 2021.4～

## 10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 日本学術振興会科学研究費補助金. 基盤研究(C). 研究代表者. 中村美安子, 大原一興, 藤岡泰寛. 住民福祉活動拠点の確保における空き家活用方策に関する研究. 平成31年度～令和4年度. 338万円. 2019.4～2024.3.
- 2) 日本学術振興会科学研究費補助金. 基盤研究(C). 研究協力者. 藤岡泰寛, 大原一興, 田中 稲子, 野原 卓. 異世代シェア型地域居住モデル構築を通じた郊外住宅地の介護予防力向上に関する研究. 平成31年度～令和4年度. 500万円. 2019.4～2024.3.

## 西村 淳（大学院保健福祉学研究科兼務）

### 1 著書

- 1) 西村淳編著(2022)『入門テキスト社会保障の基礎（第2版）』東洋経済新報社
- 2) 西村淳(2022)「ソーシャルワーク実践と法—ソーシャルワークの原理・制度・人材の法的分析」菊池馨実編著『相談支援の法的構造—「地域共生社会」構想の理論分析』信山社
- 3) 西村淳編著(2022)『社会福祉(健康支援と社会保障制度③・新体系看護学全書・第15版)』メヂカルフレンド社
- 4) 西村淳編著(2023)『社会保障論(社会福祉学習双書2023⑥)』全国社会福祉協議会
- 5) 西村淳(2023)「就業者と所得保障の課題—就業の不安定化と曖昧化への対応」菊池馨実ほか編『働く社会の変容と生活保障の法』旬報社
- 6) 西村淳(2023)『参加・貢献支援の社会保障法—法理念と制度設計』信山社

### 2 学術論文

- 1) 西村淳(2022)「労働の変容に対応した年金制度の課題—年金改革の課題の歴史的変遷を踏まえて—」『日本年金学会誌』第41号、2022年4月
- 2) 西村淳(2022)「公衆衛生・医療と社会保障法—新型コロナウイルス対応を踏まえた医療提供体制のあり方—」『社会保障法研究』第15号、2022年5月
- 3) 西村淳(2022)「オーストラリアの年金制度」『年金と経済』第41巻第2号、2022年7月
- 4) 西村淳(2022)「年金制度の意義と法的問題—高齢者の所得保障と若年世代の負担の観点から—」『法学セミナー』第67巻第10号、2022年10月号
- 5) 西村淳(2022)「国家公務員のキャリアと社会保障法研究」『社会保障法』第38号、2022年12月
- 6) 西村淳(2023)「地域福祉理論と社会保障法—コモンズ論からの示唆とその限界」『社会保障法研究』第17号、2023年3月

### 3 その他の著作

- 1) 西村淳「情報の入手方法の変化とSNS」『厚生指標』2022年7月号
- 2) 西村淳「大学図書館の変化」『厚生指標』2022年11月号
- 3) 西村淳「介護人材の確保に求められること」『厚生指標』2023年3月号
- 4) 西村淳「「異次元」の少子化対策」『週刊社会保障』No.3209、2023年3月6日号

### 4 学会、協会、公的団体の委員など

- 1) 日本社会保障法学会理事（通年）
- 2) 横浜市国民健康保険運営協議会委員（会長、通年）
- 3) 横須賀市人権施策推進会議委員（委員長、通年）
- 4) 横須賀市社会福祉審議会委員（高齢福祉専門分科会長、通年）
- 5) 社会福祉士および精神保健福祉士試験委員（通年）
- 6) 『年金と経済』編集委員（通年）
- 7) 北海道大学公共政策学研究センター研究員（通年）

## 5 社会貢献

- 1) 実践交流フォーラム「地域共生社会と社会福祉の実践～社会福祉のイノベーションに向けて～」を主宰（2022年6月）

## 6 講演、放送

- 1) 「コロナ禍で物価高騰の中、現役世代以降の年金と介護保険の行く末は」グリーンハイツゆいの広場、2022年7月
- 2) 「高齢者の人権について考える」人権学校、神奈川人権センター、2022年9月
- 3) 「医療保険制度」「介護保険制度」「年金保険制度」神奈川県労働大学、2022年11月
- 4) 「地域福祉の実際・歴史・理念」北海道大学公共政策大学院、2022年12月
- 5) 「介護予防・日常生活支援総合事業の理解と実践」横須賀市医師会社会的処方学習会・よこすか人社プロジェクト暮らしのたすけ愛ささえ愛フォーラム、横須賀の2040年を考える会、2023年1月

## 7 学会等での活動

- 1) 「国家公務員のキャリアと社会保障法研究」日本社会保障法学会第77回大会、2022年5月
- 2) 「地域における高齢者の資産管理支援」高齢者法研究会、2023年1月
- 3) 「ソーシャルワークの法的規律ーイギリス法からの含意と日本法への示唆」東京社会保障法研究会、2023年2月

## 8 学内教育活動

- 1) 学部の講義担当：「保健医療福祉論Ⅱ」・「法と人間」「社会福祉の法と制度」「福祉の哲学」「権利擁護と成年後見制度」
- 2) 学部の演習担当：「社会福祉専門演習Ⅰ」「社会福祉専門演習Ⅱ」
- 3) 卒業研究指導（学部）4名
- 4) 大学院保健福祉学研究科の講義担当：「保健福祉行政特論」「保健福祉人材育成論」「保健福祉国際政策特論」
- 5) 院生指導教員（修士課程3名・博士課程1名）

## 9 学内各種委員会活動

- 1) 附属図書館長
- 2) 図書委員会（委員長）

## 10 科学研究費補助金、その他の補助金などの受託

- 1) 科研費補助金（基盤研究B）「ソーシャルワークの法理論の構築ー支援関係を軸とした社会保障法学の再構成」（研究代表者）
- 2) 科研費補助金（基盤研究C）「地域福祉の法的権利構造の解明に関する研究ー市民参加支援としての社会福祉の観点から」（研究代表者）※延長分
- 3) 科研費補助金（基盤研究C）「外国人介護労働者の定着に関する研究ー年金・医療を中心とする社会保障に焦点を当てて」（研究分担者）



## 山本 恵子（大学院保健福祉学研究科兼務）

### 1 著書

- 1) 共編著『ニューミュニシパリズム グローバル資本主義を地域から変革する新しい民主主義』執筆担当 ●10章「英国高齢者ケアの市場化の陥穽」●11章「日本の介護保険制度と準市場」明石書店

### 2 学術論文

- 1) 「日英の孤独・孤立対策」賃金と社会保障 第1810号
- 2) 「都市における孤立する高齢者の生活支援と介護財政負担の軽減に関する調査研究」ローカル・ガバナンス研究 ナンバー2

### 5 社会貢献

- 1) 葉山町介護保険事業計画等運営委員会委員長、葉山町地域包括支援センター運営協議会会長を務めた。

### 9 学内各種委員会活動

- 1) 研究科運営会議委員を担当した。
- 2) 研究助成部会委員を担当した。
- 3)

### 10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 科学研究費補助金(基盤研究c)「都市における低所得高齢者のための包摂型地域包括ケアのプログラム開発」研究代表者 二年目

### 14 その他

- 1) 高校訪問をした。
- 2) 高校(平塚中等教育学校)で出張講座を行った。

## 行實 志都子（大学院福祉学研究科兼務）

### 1 著書

- 1) 小板橋恵美子 吉田浩滋 編著 行實志都子著（2022.6）押さえておきたい障害者福祉・精神保健福祉、株式会社ぎょうせい、東京都

### 4 学会，協会，公的団体の委員など

#### 【学会】

- 1) 日本リハビリテーション連携科学学会 理事 2020.4～現在

#### 【協会】

- 1) 一般社団法人 神奈川県精神保健福祉士協会 理事 2015.6.～現在
- 2) 公益社団法人 日本精神保健福祉士協会 理事 2020.6～現在

#### 【公的団体】

- 1) 埼玉県ふじみ野市精神保健福祉連絡協議会 委員 2008.4.1～現在
- 2) 埼玉県三芳町自立支援協議会 会長 2010.4.1～現在
- 3) 川崎市障害者自立支援委員会 会長 2016.4.1～現在
- 4) 横浜市精神医療審査会 予備委員 2018. 4～現在
- 5) 川崎市指定管理者選定委員会 委員 2018. 4～現在
- 6) 川崎市文化賞・社会功労賞・スポーツ賞・アゼリア輝賞選考委員会 委員 2019.4～現在
- 7) 川崎市第5次かわさきノーマライゼーション策定委員会 委員 2022.4～現在
- 8) 渋谷区医療的ケア児支援関係機関協議会 会長 2021.1～現在
- 9) 横須賀市ひきこもり支援委員会 委員長 2022.11～
- 10) 鎌倉市障害者二千人雇用推進協議会 会長 2022.12

#### 【福祉法人等】

- 1) 社会福祉法人結の会オフィスクローバー 理事 2013.1.1～現在
- 2) かながわ福祉サービス運営適正委員会 委員 2016. 4～現在
- 3) かながわ福祉サービス苦情解決委員会 委員 2016.4～現在
- 4) 精神保健福祉士国家試験委員 2020.4～現在

### 5 社会貢献

- 1) オープンキャンパス 夏のオープンキャンパスとミニオープンキャンパスを担当する
- 2) 大学説明会並びに高校訪問に出席 計9か所
- 3) 神奈川県精神保健福祉士協会 三浦・横須賀支部を担当理事として運営し、三浦・横須賀地域の精神保健福祉士の連携を図る

### 6 講演，放送

- 1) 一般社団法人 日本ソーシャルワーク教育学校連盟主催 演習担当教員講習会 研修 2022.8 開催
- 2) 神奈川県社会福祉協議会主催，かながわライフサポート事業コミュニティソーシャルワーカーの養成研修 講師 2022.8
- 3) かながわ障がいケアマネジメント従事者ネットワーク主催 神奈川県委託事業「障害者相談

支援従事者研修 主任者研修 講師」2022.9 開催

- 4) 川崎市中部地域生活支援センターはるかぜ主催 ピアサポート研修 講師 2022.12 開催
- 5) 北鎌倉女子学園 高校3年生に向けて新生活準備講座「女性のライフデザインを考える～いつまでも自分らしく輝くために～」2023.1 開催
- 6) 小田原市主催, 小田原市精神障がい者ピアサポート事業研修会 講師, 2022.3 開催

#### 7 学会等での活動

- 1) 日本職業リハビリテーション学会 第50回かながわ大会 事務局長 2022.8～現在

#### 8 学内教育活動

- 1) 精神保健福祉士養成課程コース、コース長 2020.4～現在
- 2) 大学院前期課程での指導 2013.4～現在

#### 9 学内各種委員会活動

- 1) 入試委員会 2021.4～
- 2) オープンキャンパス委員 2018.4～

#### 10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 科学研究費 若手研究 22K13500 「ピアサポートによる精神障害者のキャリアデザイン開発—当事者性を活かして— 2022.4～

## 在原理恵（大学院保健福祉学研究科兼務）

### 2 学術論文

- 1) 在原理恵（2022）「居住支援における本質的価値と障害者グループホームの可能性」『発達障害研究』第44巻第2号,122 - 130

### 3 その他の著作

- 1) 室津滋樹・室津茂美・在原理恵・ほか（2022）「グループホームの質保証の取り組みを進めよう」『季刊グループホーム』72, 14-17.

### 4 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 障害のある人と援助者でつくる日本グループホーム学会 運営委員（2010.6～）
- 2) 神奈川県社会福祉協議会かながわ福祉サービス第三者評価推進機構 障害者グループホーム第三者評価部会 部会長（2014.4～）
- 3) 神奈川県社会福祉協議会かながわ福祉サービス第三者評価推進機構 運営委員会 委員長（2018.4～）
- 4) 神奈川県障害者施策審議会委員（2016.6～）
- 5) 神奈川県障害者介護給付費等不服審査会 会長（2019.4～）

### 5 社会貢献

- 1) かながわ福祉サービス第三者評価推進機構 令和3年度 評価調査者認定研修，講師（2022.6.10）
- 2) 障害者グループホーム第三者評価 評価調査者フォローアップ研修会（神奈川県社会福祉協議会 かながわ福祉サービス第三者評価推進機構），講師（2022.8.5）
- 3) 霧が丘高校での系統別説明会で社会福祉学及び学科の特徴説明（2022.11.17）
- 4) 夢ナビ講義の公開と夢ナビ video での授業動画公開
- 5) 社会福祉学科ミニオープンキャンパス個別相談担当（2023.3.27）

### 8 学内教育活動

- 1) 国家試験対策講座担当科目「社会調査の基礎」

### 9 学内各種委員会活動

- 1) 教務委員
- 2) 自己評価専門部会委員

## 石井 忍（大学院保健福祉学研究科兼務）

### 4 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 神奈川県介護養成施設協会運営委員 2003.4～
- 2) 横浜市西区野毛山荘指定管理者選考委員会 委員長 2015.4～
- 3) 横浜市西区地域ケアプラザ指定管理者選考委員会 委員長 2019.12～

### 5 社会貢献

- 1) 社会福祉法人 三育福祉会 シャローム浦上台 第三者委員. 2010.4～
- 2) 県立松陽高校における系統別説明会及び模擬授業 (2022.12.19)

### 7 学会等での活動

- 1) 日本介護福祉士会，専門誌「介護福祉士」論文査読委員. 2020.10～

### 8 学内教育活動

- 1) 学部担当科目：「介護技術方法論」「介護技術演習Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ」「介護福祉実習Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ」「介護総合演習Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ，Ⅳ」「形態別介護技術演習Ⅰ，Ⅱ」「レクリエーション活動援助法」「介護過程Ⅰ、Ⅱ」「専門演習Ⅰ，Ⅱ」「卒業研究」
- 2) 大学院授業科目：介護福祉特論（隔年）

## 大島 憲子（大学院保健福祉学研究科兼務）

### 2 学術論文

- 1) 橋本 萌子,高橋 恭子,大島 憲子 (2023)『特別養護老人ホームにおいて看取りをした家族の満足感に影響を及ぼした経験』神奈川県立保健福祉大学大学誌 2023 ; 20(1).

### 4 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 神奈川県社会福祉審議会 委員 2022.4～2023.3.
- 2) 神奈川県薬事審議会 委員 2022.4～2023.3.
- 3) 神奈川県民生委員審査専門分科会 分科会長 2022.4～2023.3.
- 4) 神奈川県大和市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画審議会 委員 2022.4～2023.3.
- 5) かながわ高齢者保健福祉計画評価・推進委員会 委員 2022.4～2023.3.
- 6) 神奈川県在宅医療推進協議会 委員 2022.4～2023.3.
- 7) 神奈川県地域包括ケア会議 副委員長 2022.4～2023.3.
- 8) 神奈川県在宅医療推進協議会 委員 2022.4～2023.3.
- 9) 神奈川県介護予防市町村支援委員会 委員 2022.4～2023.3.
- 10) かながわ感動介護大賞実行委員会 委員 2022.4～2023.3.
- 11) かながわ感動介護大賞選考委員会 座長 2022.4～2023.3.
- 12) 横須賀市介護保険運営協議会委員 2022.4～2023.3.
- 13) 日本認知症ケア学会 代議員 2022.4～2023.3.
- 14) 日本認知症ケア学会「日本の認知症ケア学会誌」査読委員 2022.4～2023.3.
- 15) 日本認知症ケア学会「認知症ケアジャーナル」査読委員 2022.4～2023.3.

### 5 社会貢献

- 1) かながわ感動介護大賞表彰式・同大賞選考委員会座長として出席 (2022年11月5日)
- 2) 神奈川県立川崎高等学校見学後の入試説明等を実施した。(2022年8月31日)
- 3) 横浜創英中学・高等学校見学後の入試説明等を実施した。(2022年9月8日)
- 4) オープンキャンパス: 学科説明担当 (2022年8月7日)
- 5) 茶部顧問としてその活動を支援した。2022.4～2023.3.

### 6 講演, 放送

- 1) 大和市高齢者保健福祉・介護保険事業計画審議会における基調講演  
「第9期介護保険事業計画に向けての方向性 ～在宅医療・介護連携推進事業・認知症関連事業の強化・推進に向けて～」大和市保健福祉センター, 2022年6月26日

### 7 学会等での活動

- 1) 認知症ケア専門士論文審査員・面接員
- 2) 認知症ケア専門士試験問題作成委員

### 8 学内教育活動

- 1) 授業担当科目

- (1) 介護福祉論（科目責任者）
  - (2) 認知症ケア論（科目責任者・講義 30 コマ）
  - (3) 介護技術演習Ⅳ（医療的ケア）（科目責任者・通年 80 コマ）
  - (4) 形態別介護技術演習Ⅰ（科目責任者）
  - (5) 介護過程Ⅰ（30 コマ）
  - (6) 介護過程Ⅱ（科目責任者）
  - (7) 介護福祉実習Ⅰ～Ⅲ（52 日・450 時間）
  - (8) 社会福祉専門演習Ⅰ（社会福祉学科学生 3 年次 6 名・通年）
  - (9) 社会福祉専門演習Ⅱ（社会福祉学科学生 4 年次 6 名・通年）
  - (10) 社会福祉学特別研究（通年）
  - (11) 介護福祉特論（隔年開講）
  - (12) 国家試験対策講座担当科目：「介護の基本」「生活支援技術」「介護過程」「こころとからだのしくみ」「発達と老化の理解」「認知症の理解」「障害の理解」「医療的ケア」
  - (13) 大学院保健福祉学研究科博士前期課程学生 2 名の修論指導
- 2) 実践教育センター 「介護福祉学（3 時間）」
- 9 学内各種委員会活動
- 1) 研究倫理審査委員会 委員
  - 2) 介護福祉士コース・コース長
- 10 科学研究費補助金，その他の補助金などの受託
- 1) 科学研究費助成事業・基盤研究(C)「行動・心理症状（BPSD）に対する症候対応型認知症ケア技術の開発」（18K02108），研究代表者
- 11 学内研究助成金の受託
- 1) 学科研究費.「自治体における認知症地域支援推進員の新たな役割のモデル構築に関する研究」研究代表者

## 川村 隆彦（大学院保健福祉学研究科兼務）

### 4 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 日本社会福祉学会『社会福祉学』査読委員（2006.1～）
- 2) 日本ソーシャルワーク学会『ソーシャルワーク学会誌』査読委員（2013.10～）
- 3) 逗子市地域包括ケア会議委員（2018.4～）

### 5 社会貢献

- 1) 以下の地域の専門職への研修、スキルトレーニングを行う。東京都保健福祉財団（地域包括支援センター職員対象／10.9）兵庫県宝塚市ケアマネジャー協会主催研修（11.19）富山県社会福祉士有志の集い・ミニシンポジウム 2.4）兵庫県朝来市ケアマネジャー協会主催研修（2.11）NPO ディーセントワークラボ主催クリエイティブダイアログ研修（東京 2.17／大阪 2.14）兵庫県社会福祉士会但馬ブロック主催研修（3.21）沖縄県 MSW 有志の集い・ミニシンポジウム（3.24）他

### 8 学内教育活動

- 1) 学部において、「ソーシャルワークⅠ」「ソーシャルワーク演習Ⅰ・Ⅱ」「ソーシャルワーク実習」「ソーシャルワーク実習指導Ⅰ・Ⅱ」「社会福祉専門演習Ⅰ・Ⅱ」「人間関係とコミュニケーションⅡ」「卒業論文」を担当した。
- 2) 社会福祉学科、実習責任者

### 9 学内各種委員会活動

- 1) FDSO 委員会委員（2019.4～）
- 2) チューター



## 吉中 季子（大学院保健福祉学研究科兼務）

### 1 著書

- 1) 北海道ジェンダー研究会編（2022）『ジェンダーで読み解く北海道社会—大地から未来を切り拓く女性たち』第6章「母子生活支援施設の役割と課題—北海道の母子生活支援施設における調査より」pp.177-200 を執筆。

### 2 学術論文

- 1) 吉中季子（2022）「シングルマザーの公的年金制度加入に関する分析：関東圏 A 市における実態調査から」『社会政策』（社会政策学会誌）pp.118-129

### 3 その他の著作

- 1) ソーシャルワーク教育学校連盟 編『社会福祉士国家試験過去問解説集 2022』中央法規、2022年5月、「低所得者に対する支援と生活保護制度」 pp.88-89。
- 2) 書評 杉野衣代著『居住支援の現場から—母子世帯向けのシェアハウスとハウジングファースト』晃洋書房、『貧困研究』（貧困研究会学会誌）Vol.29 p145。

### 4 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 貧困研究会（学会） 運営委員（2017年3月～現在）  
事務局委員（2018年3月～現在）  
研究助成委員（2019年3月～2022年12月）  
広報委員（2022年12月～現在）
- 2) 日本がん看護学会 倫理委員会委員（外部委員・文化社会科学系）（2018年～現在）
- 3) 神奈川県かながわ子ども支援会議 副委員長（2018年7月～現在）
- 4) 三浦市男女共同参画懇談会 座長（神奈川県三浦市）（2019年1月～現在）
- 5) 葉山町民生委員推薦会委員（神奈川県葉山町）（2016年11月～現在）
- 6) 鎌倉市国民健康保険運営協議会委員（神奈川県鎌倉市）（2023年1月～現在）
- 7) 特定非営利活動法人 女性サポート Asyl（あじーる）（生活困窮者支援）理事長
- 8) 特定非営利活動法人 よこすかひとり親サポート ひまわり（ひとり親支援）副理事長  
（2023年2月～）
- 9) 神奈川県自治体問題研究所 理事（2022年3月～現在）
- 10) 社会福祉法人神奈川県民生福祉協会 神奈川県女性保護施設 さつき寮 評議員

### 5 社会貢献

- 1) Panasonic NPO/NGO サポートファンド for SDGs 国内助成 選考審査委員（2018年7月～現在）
- 2) 社会福祉士実習指導者講習会 「実習指導概論」担当 2022年6月11日
- 3) 神奈川県教育委員会教育局支援部主催、ソーシャルワークの視点を持った教員の養成研修 テーマ「子どもの貧困とは—子どもの貧困を問い直す」2022年8月5日

## 6 講演、放送

- 1) J-COM LIVE ニュース (エリア：横浜市・川崎市など) 伊勢原市内の子どもの学習支援と朝食提供を行う団体紹介、貧困についての知見を引用 (2022年6月22日)
- 2) 全日本年金者組合主催 横須賀支部三浦半島ブロック年金学校、於：横須賀市産業交流プラザ テーマ：女性の年金加入における家族モデルの検証ーひとり親調査からー
- 3) 神奈川県かながわ子どものみらい応援団 (神奈川県福祉子どもみらい局 子どもみらい部 次世代育成課主催) 【子どもにひろがる見えない貧困 (県ホームページ) 2022年1月31日~現在】  
[https://www.pref.kanagawa.jp/docs/sy8/cnt/f536929/kodomoshienwebkouza\\_yoshinka.html](https://www.pref.kanagawa.jp/docs/sy8/cnt/f536929/kodomoshienwebkouza_yoshinka.html)

## 7 学会等での活動

- 1) 大阪公立大学女性学研究センター主催 シンポジウム「女性と貧困」、  
テーマ：「女性の貧困の形成過程ーシングルマザーの年金加入問題ー」  
於：大阪公立大学中百舌鳥キャンパス (旧大阪府立大学) 2023年3月4日

## 8 学内教育活動

- 1) 学部授業科目：公的扶助論、社会福祉の原理と政策、ソーシャルワーク実習指導、人権とジェンダー (オムニバス担当)、専門演習Ⅰ・Ⅱ、卒業研究
- 2) 実践教育センター科目：社会福祉学 (介護コース科目) 6コマ (12時間) 担当
- 3) 大学院授業科目：低所得者福祉特論
- 4) 社会福祉士国家試験対策講座「公的扶助論」、「現代社会と福祉」を担当

## 9 学内各種委員会活動

- 1) 学生委員会
- 2) 公立大学協会・社会福祉学系部会 担当
- 3) ソーシャルワーク教育連盟 担当
- 4) 20周年事業企画ワーキンググループメンバー

## 10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) (研究代表) 科学研究費補助金(基盤研究(C))課題番号 22K01979 「女性のライフステージにおける公的年金制度加入と貧困の研究」(2022-2024年度 研究代表者 吉中季子(神奈川県立保健福祉大学・保健福祉学部・准教授))
- 2) (研究代表) 科学研究費補助金(基盤研究(C))課題番号 18K02152 「単身女性の公的年金制度と貧困に関する研究」 2018-2022年度 (研究代表者 神奈川県立保健福祉大学・保健福祉学部・准教授・吉中季子)
- 3) (研究分担) 科学研究費補助金(基盤研究(C))課題番号 20K02264 「日本における皆年金体制確立に関する歴史及び財政の検証」 2020-2023年度 (研究代表者 日本女子大学・教育福祉学部・准教授・中尾友紀)
- 4) (研究分担) 科学研究費補助金(基盤研究(B))課題番号 20H04446 「世帯内に隠れた貧困の実証的把握：貧困研究の方法の再検討」 2020-2023年度 (研究代表者 北海道大学大)

学院・教育学研究院・准教授・鳥山まどか)

- 5) (研究分担) 科学研究費助成事業(科学研究費補助金) 基盤研究(A) 21H04404 「子ども・子育て家族の貧困と政策・実践:「包括的最低限保障」の構想のために」 2021-2025 年度 (研究代表者 北海道大学・教育学研究院・教授・松本伊智朗) ,
- 6) (研究分担) 科学研究費補助金(基盤研究(B))課題番号課題番号 21H00796 「日本に住む外国人に対する金融包摂の方策」 2021-2024 年度 研究代表者 (明治大学・経営学部・教授 小関隆志)

## 岸川 学 (大学院研究科兼務)

### 2 学術論文

- 1) 岸川学. (2023). ソーシャルワーク専門職による「実践研究」の意義と方法 (試論) — 実践現場でのソーシャルワーク機能の共有に向けて—. ソーシャルワーク実践研究, 第17号, pp2-13.

### 3 その他の著作

- 1) 岸川学. (2022). 人との関係づくりやコミュニケーションが苦手な人の「参加支援」. かながわボランティアセンター令和3年度地域福祉活動支援事業 (協働モデル事業) まとめ集, 社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会.

### 4 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 神奈川県エアロビック連盟専門委員会諮問 委員. 2011.5～
- 2) 全国アダプテッドエアロビック専門部会医科学委員会 委員. 2011.5～
- 3) 鎌倉市障害者福祉計画推進委員会 委員長. 2011.8～
- 4) 横須賀市障害支援区分等判定審査委員会 委員. 2012.9～
- 5) 横須賀・三浦障害福祉圏域障害者自立支援協議会 会長. 2016.4～
- 6) 社会福祉法人みなと舎 評議員. 2017.6～
- 7) 横須賀学院高等学校科学教育センター 運営指導委員. 2018.4～
- 8) 自閉症支援者サポートネットワーク「AS-Net かながわ」 運営委員. 2018.12～
- 9) 神奈川県発達障害サポートネットワーク推進協議会 部会長. 2019.12～
- 10) 日本キリスト教社会福祉学会 理事. 2021.6～
- 11) 横須賀市福祉援護センターのあり方に関する懇話会 座長. 2021.7～
- 12) 横須賀市障害とくらしの支援協議会 副会長. 2022.4～
- 13) 横須賀市障害とくらしの支援協議会実務者運営会議 座長. 2022.4～
- 14) 横須賀市障害とくらしの支援協議会地域生活支援拠点等部会 部会長. 2022.4～
- 15) 三浦市障害者自立支援協議会 座長. 2022.4～
- 16) 三浦市障害者福祉計画推進懇談会 座長. 2022.4～
- 17) 社会福祉法人横須賀たんぽぽの郷 第三者委員. 2022.4～
- 18) 社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会福祉サービス運営適正化委員会 委員. 2022.4～
- 19) 横須賀市立浦賀小学校学校運営協議会 副委員長. 2022.4～
- 20) ヒューマンサービス学会 理事. 2023.3～

### 5 社会貢献

- 1) 社会福祉法人いちょうの里みずほ学園・自閉症者支援のコンサルテーション. 2011.12～
- 2) 社会福祉法人横須賀基督教社会館・自閉症児支援のコンサルテーション. 2017.12～
- 3) 社会福祉法人県央福祉会三浦創生舎・自閉症者支援のコンサルテーション. 2018.9～
- 4) 自閉症支援者サポートネットワーク「AS-Net かながわ」の運営. 2018.12～
- 5) 神奈川県相談支援体制充実強化事業事例検討会における専門的コンサルテーション. 2019.7～

- 6) 社会福祉法人海風会いちばん星における自閉症者支援のコンサルテーション. 2020.10～
- 7) 神奈川県ソーシャルワーク視点の教員養成研修の企画・運営. 2021.4～
- 8) 社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会地域福祉活動支援事業（協働モデル事業）アドバイザー. 2021.5～
- 9) 横須賀市障害者基幹相談支援センター専門的コンサルテーション. 2021.10～
- 10) 神奈川県社会福祉協議会重層的支援体制整備事業アドバイザー派遣のアドバイザー. 2022.4.1～
- 11) 横須賀学院高等学校高大連携セミナーにおける高校生向け授業の実施. 2022.5.7, 2022.11.17
- 12) 神奈川県立保健福祉大学 2022 (令和 4) 年度 高校生向け大学説明会における学科説明. 2022.7.2
- 13) 国立のぞみの園「A園における相互間交流（現任研修）による強度行動障害者支援にかかる人材育成に関する研究」 研究メンバー. 2022.7～
- 14) 神奈川県自閉症協会主催「第 23 回自閉症療育者のためのトレーニングセミナー」トレーナー. 2022.7.30～8.3
- 15) 玉川聖学院における高校 1 年生向け福祉に関する授業の実施. 2022.10.26
- 16) 第 1 回 KJK サポーターミーティングに浦賀団地活性化サポーター（UDKS）顧問として参加. 2023.3.5
- 17) 神奈川県立保健福祉大学ミニオープンキャンパスにおける個別相談対応. 2023.3.27

## 6 講演，放送

- 1) 講演：「支援者が感じる困難さと上手に向き合うために」，社会福祉法人黎明会横須賀ホームページ職員研修会. 2022.7.2
- 2) 講演：『『成年後見「的」支援について』-意思決定への支援や、相談支援に期待する役割は-』，第 26 回福祉のまちづくりを進める市民集会. 2022.7.16
- 3) 講演：「子どもたちが社会でよりよく生きるために」，令和 4 年度第 2 回寒川町教職員研修会. 2022.7.26
- 4) 講演：「障害のある人への虐待を防ぐために-支援とは何かを考える-」，横須賀市療育相談センター職員研修会. 2022.7.27
- 5) 講演：「大人の生活-福祉の制度など-」，神奈川県立鎌倉養護学校夏季公開講座. 2022.7.29
- 6) 講演：「支援とは-切れ目ない幸せな支援の為に-」，横須賀市教育委員会発達支援コーディネーター・支援教育コーディネーター合同連絡会. 2022.8.24
- 7) 講演：『『自分らしさ』の再発見』，社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会地域福祉活動支援事業（協働モデル事業）「公開勉強会」. 2022.9.10
- 8) 講演：「重層的支援体制整備事業における多機関協働-専門職と地域とのつながり-」神奈川県社会福祉協議会令和 4 年度包括的な支援体制及び重層的支援体制構築支援事業課題別研修会. 2022.9.22
- 9) 講演：「支援とは何か」「専門性とは何か」「良い支援者を目指して」，令和 4 年度新任福祉・介護施設等職員合同交流・研修会，神奈川県・社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会，2022.10.6, 2022.11.7, 2022.12.12
- 10) 講演：「良い支援を目指して-市民の視点に立った接遇・傾聴の仕方について」，厚木市多

機関協働による相談支援強化事業研修. 2022.10.27

- 11) 講演：「重層的支援体制整備事業における多機関協働-専門職と地域とのつながり」, Libero 鎌倉令和4年度重層的支援体制整備事業研修会. 2022.10.26
- 12) 講演：「厚木市多機関協働による相談支援体制強化事業研修～事例検討を通して多機関協働による支援の方向性をつかむ～」, 厚木市多機関協働による相談支援強化事業研修, 2022.11.18
- 13) 講演：「広げよう！個別支援から生まれるつながりの輪」, 令和4年度ウィリング横浜主催研修. 2022.11.22
- 14) 講演：「障害のある人への人権擁護と虐待防止-支援とは何かを考える-」, 横須賀市障害施設協議会新人職員向け研修会. 2022.12.2
- 15) 講演：「自分らしく生きる-知的障害のある自閉症の人と家族のライフストーリーを通して考える」, 神奈川県鎌倉保健福祉事務所三崎支所主催令和4年度養育支援講演会. 2022.12.22
- 16) 講演：「地域づくりと参加支援-支援を必要とする人を中心に-」, 厚木市多機関協働による相談支援強化事業研修. 2023.1.14
- 17) 講演：「Libero かまくら令和4年度重層的支援体制整備事業研修会パート2」, Libero 鎌倉令和4年度重層的支援体制整備事業研修会. 2023.1.26
- 18) 講演：「障害のある人への人権擁護と虐待防止-支援とは何かを考える-」, 横須賀市障害施設協議会新人職員向け研修会. 2023.2.10
- 19) 講演：「良い支援者をめざして」, 平塚市わかてカイ研修会. 2023.2.21
- 20) 講演：「社会福祉・地域共生社会における多様性（ダイバーシティ）」, 令和4年度地域福祉ネットワーク推進フォーラム「地域共生社会・多様性の実現に向けた取り組み～認め合い・支え合う座間～」. 2023.2.26

## 7 学会等での活動

- 1) 黒河内仙奈, 長島俊輔, 岸川学, 池田公平, 樋口良子, 田中和美: 谷戸地区で暮らす高齢者の健康増進活動に関する実態調査. 日本老年看護学会第27回学術集会抄録集, 185, 2022.
- 2) 長島俊輔, 岸川学, 池田公平, 田中和美, 樋口良子, 黒河内仙奈. (2022.10.30). 谷戸地区に住む高齢者の睡眠とフレイルの関連. 第12回ヒューマンサービス研究会.

## 8 学内教育活動

- 1) 保健福祉学部において保健医療福祉論Ⅰ, ソーシャルワークⅢ, ソーシャルワーク演習Ⅰ, ソーシャルワーク演習Ⅱ(新カリ), ソーシャルワーク演習Ⅱ(旧カリ), ソーシャルワーク実習, ソーシャルワーク実習指導Ⅰ, ソーシャルワーク実習Ⅰ, 社会福祉基礎演習Ⅱ, ソーシャルワークの基盤と専門職(専門), 形態別介護技術演習Ⅱ「知的障害を伴う自閉症の人への支援(2回)」を担当.
- 2) ボランティアセンター, H.S.C(ほっとするクラブ), サマースクール実行委員会, UDKS(浦賀団地活性化サークル), 卓球サークル, 剣道サークル, 顧問.
- 3) 社会福祉士国家試験対策講座「障害者に対する支援と障害者自立支援制度」「相談援助の理論と方法」を担当. 2022.12

## 9 学内各種委員会活動

- 1) ヒューマンサービス委員会委員. 2021.4～
- 2) 地域貢献研究センター地域貢献部門会議委員. 2021.4～
- 3) 自己評価専門部会委員. 2021.4～
- 4) 進路支援担当ワーキンググループ 委員. 2022.4～
- 5) 社会福祉士国家試験対策講座担当. 2021.4～

## 11 学内研究助成金の受託

- 1) 黒河内仙奈 (研究代表者), 岸川学, 池田公平, 長島俊輔, 田中和美, 樋口良子, 福岡梨紗, 渡邊恵, 末田千恵. 地域特性を反映した領域横断型学習教材の開発. 研究助成 A, 362,970 円, 2022.6.2～2023.3.31.
- 2) 岸川学 (研究代表者), 黒河内仙奈, 池田公平, 長島俊輔, 田中和美, 樋口良子, 福岡梨紗, 渡邊恵, 末田千恵. 谷戸地区で暮らす住民の健康増進に向けた支援の検討. 地域貢献研究センター研究助成, 192,307 円, 2022.4.1～2023.3.31.
- 3) 渡邊 恵 (研究代表者), 長島 俊輔, 加藤木 真史, 佐々木 杏子, 森 朱輝, 水戸 優子, 藤田 峰子, 長山 洋史, 池田 公平, 黒澤 千尋, 五味 郁子, 樋口 良子, 福岡 梨紗, 玉川 淳, 高橋 恭子, 岸川 学, 志村 華絵. 事例提供ツールとしての模擬電子カルテの開発と導入～多職種連携能力育成を意図した事例学習プログラムの検討と教育評価～. 令和 4 年度学長推薦研究費, 2,500,000 円, 2022.7.19～2023.3.31.

## 14 その他

- 1) 第 12 回ヒューマンサービス研究会の企画・運営. 2022.10.31
- 2) 「ヒューマンサービス研究 12」の編集・発行. 2023.3

## 種田 綾乃（大学院保健福祉学研究科兼務）

### 1 著書

- 1) 種田綾乃.(2022).ピアサポート.齋藤正彦編, 講座 精神疾患の臨床 7 地域精神医療 リエゾン精神医療 精神科救急医療(p.140-p.146). 東京: 中山書店.

### 3 その他の著作

- 1) 種田綾乃, 青木千帆子, 岩上洋一, 大村美保, 坂入竜治, 増田和高, 水野雅之, 山口創生, 吉野智, 岩崎香.(2022). 障害福祉サービス人材の確保に向けた実態調査:「魅力」の言語化および発信に向けた先駆的实践者へのインタビュー. 令和3年度厚生労働科学研究費補助金(障害者政策総合研究事業)「地域共生社会の実現に資する障害福祉人材の確保、養成のための研究」分担研究報告書.
- 2) 種田綾乃, 木本達男, 鈴木圭子, 阿部祐太, 大山和宏, 岡安努, 三溝園子, 中野千世, 山本めぐみ, 尾形多佳士, 水野拓二 (2022). 「精神医療審査会に関するアンケート調査」報告書.

### 4 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 公益社団法人日本精神保健福祉士協会 精神医療・権利擁護委員会 委員 (2020年4月～現在)
- 2) 公益社団法人日本精神保健福祉士協会 学会誌投稿論文等査読小委員会 査読担当者 (2017年10月～現在)
- 3) 日本精神障害者リハビリテーション学会 研修委員 (2018年7月～現在)・学会ロゴマークプロジェクト (2022年7月～現在)・野中賞選考委員 (2021年4月～現在)
- 4) 秦野市教育委員会・教育研究所 専門相談員 (スクールソーシャルワーカー)・第三者委員 (2018年4月～現在)
- 5) 平塚保健福祉事務所秦野センター 精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業 アドバイザー (2019年10月～現在)
- 6) 秦野市いじめ問題対策調査委員会 委員 (2021年4月～現在)
- 7) おかやま UFE 理事 (2021年12月～現在)

### 5 社会貢献

- 1) 障害者ピアサポート専門員養成研修 企画委員・講師 (2016年4月～現在)
- 2) ピアサポートを担う人材の活用を推進するための調査及び検討に関する委員会 委員 (2018年4月～現在)
- 3) ピアサポート文化を広める研究会 委員 (2017年9月～現在)
- 4) 秦野市地域生活支援センター「ぱれっと・はだの」 アドバイザー (2019年4月～現在)
- 5) 秦野子ども支援プロジェクト「ゆう」 会員 (2017年4月～現在)
- 6) オープンキャンパス、ミニオープンキャンパス、キャンパスツアーに関する企画・動画作成・当日運営



## 6 講演、放送

- 1) 神奈川県立保健福祉大学・実践教育センター共催の「令和3年度実習指導者養成教育(社会福祉士実習指導者講習会)」にて、「実習スーパービジョン論(演習)」の講師を務めた、神奈川、2022年6月18日。
- 2) 神奈川県教育委員会主催の「ソーシャルワークの視点を持った教員の養成研修講座」にて、「社会福祉援助技術演習」の講師を務めた、神奈川、2022年8月24日。
- 3) NPO法人おかやまUFE主催の「令和4年度岡山市配偶者暴力被害者等支援事業 勉強会」にて、「スクールソーシャルワークから見る子どもの家庭環境における虐待について」「スクールソーシャルワークから見る子どものメンタルヘルス」「障害者虐待における支援について」の講師を務めた、岡山、2022年9月7-9日。
- 4) 千葉県障害福祉事業課主催の「令和3年度千葉県精神障害者ピアサポート専門員養成研修」にて、「ピアサポートの理解」と「ピアサポートを活用する技術と仕組み」についての講義を担当した、千葉、2022年10月22日・11月19日。
- 5) 横浜ピアスタッフ協会主催の「ピアマスタースクーリング」において、「地域におけるピアの役目とは」に関する講話を行った、神奈川、2023年2月6日。
- 6) 秦野市地域活動支援センターぱれっと・はだの主催の「秦野市ピア学習会」の連続講座の企画および講師・ファシリテーターを務めた、神奈川、2022年8月23日・9月27日・10月25日・11月22日・12月20日・1月24日。
- 7) 神奈川県精神保健福祉センター主催の「神奈川県ピアサポーター研修」において、「精神科医療機関でのピアサポートの可能性、そのためにピアサポーターができること」をテーマに講演を行った、神奈川、2022年2月28日。

## 7 学会等での活動

- 1) 樽谷精一郎、浅見隆康、大川浩子、小野彩香、木挽秀夫、坂本明子、佐抜洋平、種田綾乃、松田康裕、松長麻美：さらなる『研修セミナー』の改善に向けて— 研修委員会の新たな取り組みについて。日本精神障害者リハビリテーション学会第29回群馬大会(オンライン学会)、2022年12月10-11日。

## 8 学内教育活動

- 1) 学部担当科目：人間関係とコミュニケーションⅠ、社会福祉基礎演習Ⅰ、ソーシャルワークの基盤と専門職、ソーシャルワークⅡ、ソーシャルワーク実習指導Ⅰ・Ⅱ、ソーシャルワーク演習Ⅰ・Ⅱ
- 2) ソーシャルワーク実習報告会の運営、社会福祉士実習指導者講習会の企画・運営等
- 3) 大学院修士課程の学生の指導補助教員

## 9 学内各種委員会活動

- 1) 研究委員会 委員
- 2) 地域貢献研究センター研究支援部門 委員
- 3) 動物実験専門部会 委員
- 4) 学科オープンキャンパス 委員
- 5) オリエンテーション 委員

## 10 科学研究費補助金，その他の補助金などの受託

- 1) 岩崎香，野澤和弘，山口創生，種田綾乃．地域共生社会の実現に資する障害福祉人材の確保、養成のための研究，厚生労働省科学研究費補助金 障害者政策総合研究事業，2021年4月～2023年3月．（研究分担者）
- 2) 池田朋広，松本俊彦，大口達也，上原徹，種田綾乃．精神障害と物質使用障害を併せ持つ者への日本版統合治療支援ツールの開発と普及，日本学術振興会科学研究費助成 基盤研究 C，2021年4月～2024年3月．（研究分担者）
- 3) 相川章子，濱田由紀，荒井浩道，種田綾乃，横山和樹．ピアスタッフの固有性および価値に関する探索的研究，日本学術振興会科学研究費助成 基盤研究 C，2021年4月～2024年3月．（研究協力者）

## 11 学内研究助成金の受託

- 1) 種田綾乃，川嶋恵子，小川のり子，石川紗衣．精神障害者ピアサポーターの参画・協働による地域に根ざしたピアサポーター養成研修づくりの企画・運営の検討，地域貢献研究センター研究事業，193,403円，2022年5月～2023年3月．
- 2) 種田綾乃，池田朋広．精神障害と物質使用障害を併存する者の支援に携わる支援者・当事者スタッフの語りの場づくり：フォーカスグループインタビュー調査，研究助成 B（奨励研究）助成金，432,882円，2022年6月～2023年3月．

## 寺田 誠

### 1 著書

- 1) 寺田 誠 (2023)「4 治し支える医療への社会の転換と医療の転換」栃本一三郎編著『高齢期を支える－高齢者が社会を支える時代に向け』放送大学教育振興会, 95-112.

### 3 その他の著作

- 1) 寺田 誠 (2023)『要保障性の制度化プロセスにおける措置制度と介護保険制度－個人の利益と社会の利益の視点から』東洋大学大学院福祉社会デザイン研究科社会福祉学専攻審査学位論文, 全 137 頁.

### 5 社会貢献

- 1) 神奈川県立総合教育センター主催「令和 4 年度 ソーシャルワーカーの視点を持った教員の養成研修講座」で講義を担当 (タイトル: 社会保障給付をめぐる考え方と具体的な支援の重なり), 2022 年 7 月 26 日.
- 2) ゆめクラブ大学横須賀・三浦ブロック主催「令和 4 年度 高齢者の健康に関する講座」で講義を担当 (タイトル: 地域包括ケアシステムと「本人の選択」－治し支える医療を例にして), 2022 年 10 月 18 日.

### 6 講演, 放送

- 1) 東洋大学・ソングョル (聖潔) 大学共催「日韓交流会」で研究報告を担当 (タイトル: 措置制度と介護保険制度の対比からみる必要充足のための制度化の論点－連続と非連続の視点から), 2023 年 2 月 24 日.
- 2) 第 27 回社会福祉学科内研究会で研究報告を担当 (タイトル: 問題関心と具体的な研究課題－介護保険の給付方法とニーズ充足を例にして), 2022 年 5 月 18 日.

### 8 学内教育活動

- 1) 学部担当科目: 「社会保障論 (通年)」, 「社会福祉基礎演習 II (前期)」, 「ソーシャルワーク実習 I (後期)」, 「ソーシャルワーク実習指導 I (後期)」, 「ソーシャルワーク実習 II (通年)」, 「ソーシャルワーク実習指導 II (通年)」
- 2) 上記以外の学部担当科目: 「保健福祉医療福祉論 I (前期)」での事前・事後指導担当, 「ヒューマンサービス総合演習 (後期)」での科目運営ワーキングメンバー担当
- 3) 社会福祉士国家試験対策講座で講義を担当 (社会保障論), 2022 年 12 月 5 日.

### 9 学内各種委員会活動

- 1) 新年度学科別オリエンテーション担当 (通年)
- 2) オープンキャンパス及びミニオープンキャンパス担当 (通年)
- 3) 地域貢献研究センター国際協働部門委員 (通年)
- 4) うみかぜ祭での支援教職員担当, 2022 年 10 月 30 日.
- 5) 神奈川県立保健福祉大学開学 20 周年記念式典での案内係担当, 2022 年 12 月 27 日.

## 井上 夏子

### 4 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 横須賀市 障害者の情報・コミュニケーションに関する協議会 委員（2022年4月より委員長）（2021年8月～現在）

### 5 社会貢献

- 1) 横須賀市障害区分等認定審査会 審査委員（2019年4月～現在）
- 2) 立川マック（東京都立川市）職員研修講師（2021年11月～現在）
- 3) 神奈川県青少年センター 研修講師（2022年3月～現在）
- 4) JHC板橋会 研修講師（2023年3月～現在）

### 7 学会等での活動

- 1) 日本社会福祉学会、日本社会精神医学会、日本精神保健福祉学会、日本精神保健福祉士協会、神奈川県精神保健福祉士協会の会員として、研究活動等に従事した。
- 2) 日本精神保健福祉学会 第10回日本精神保健福祉学会全国学術研究集会（札幌大会）にて、「専門的援助関係において創生される『場』を支えるリーダーシップの考察－PSWが担う『リーダーシップ』の認識を問う－」の演題で学会発表した。
- 3) 第31回社会福祉学科内研究会で「専門的援助関係において創生される『場』を支えるリーダーシップの考察－PSWが担う『リーダーシップ』の認識を問う－」の演題で研究報告を担当した。

### 8 学内教育活動

- 1) 社会福祉学科において精神保健福祉士課程の必修科目である「精神保健福祉制度論」「精神科リハビリテーション学」「精神福祉援助技術総論」を担当した。
- 2) 社会福祉学科において精神保健福祉士課程の必修科目である「精神保健福祉援助実習」及び「精神保健福祉援助演習」の補佐的役割を担った。
- 3) 社会福祉学科において精神保健福祉士課程の国家試験対策を担当した。
- 4) 社会福祉学科2年次の「社会福祉基礎演習Ⅱ」のクラス担当として、指導にあたった。
- 5) 精神保健福祉士課程の学生の学習上の相談に応じ、指導を行った。
- 6) 精神保健福祉援助実習における実習機関の指導者と連携し、巡回や電話相談などの機会をもって、学生の円滑な実習の実施に努めた。

### 9 学内各種委員会活動

- 1) 実習センター運営委員会の委員として活動に取り組んだ。
- 2) オープンキャンパスの学科担当教員として、企画・運営、協力学生のサポートに取り組んだ。
- 3) 卒業・修了式、入学式実行委員として、活動に取り組んだ。

### 11 学内研究助成金の受託

- 1) 「研究助成 B（奨励研究）」を受託し、「ソーシャルワーク理論の系譜における『専門的援

助関係』の捉え方－我が国の精神保健福祉領域への影響－」を課題とした研究活動に従事した。

## 打越 友実

### 2 学術論文

- 1) 打越友実. (2022). ソーシャルワークの倫理的ジレンマに関する研究—研究方法の検討を中心として—. 福祉学, 2(1), 2-17.

### 7 学会等での活動

- 1) 打越友実, 小林理, 赤木拓人, 新保幸男: 虐待通告をめぐる倫理的ジレンマにおける価値・倫理の位置づけ—Dolgoffら(2012)の定義を中心として—. 2022年度日本子ども家庭福祉学会第23回全国大会, オンライン, 2022年6月12日.
- 2) 小林理, 打越友実, 赤木拓人, 新保幸男: 社会的養護における人材育成の課題—全国調査にみる人材背景の多様性を中心として—. 2022年度日本子ども家庭福祉学会第23回全国大会, オンライン, 2022年6月12日.
- 3) 新保幸男, 打越友実, 赤木拓人, 小林理: 子ども食堂の多機能性に関する考察—福祉避難所とグループホーム—. 2022年度日本子ども家庭福祉学会第23回全国大会, オンライン, 2022年6月12日.
- 4) 赤木拓人, 打越友実, 小林理, 新保幸男: 国外での代理懐胎により生まれた子との特別養子縁組—子の利益のための特別の必要性を中心として—. 2022年度日本子ども家庭福祉学会第23回全国大会, オンライン, 2022年6月12日.
- 5) 打越友実, 小林理, 赤木拓人, 新保幸男: ソーシャルワークの倫理的ジレンマに関する研究—テキストマイニングによる分析結果への一考察—. 第35回日本保健福祉学会学術集会, オンライン, 2022年10月1日.
- 6) 新保幸男, 打越友実, 赤木拓人, 小林理: 福祉避難所と子ども食堂. 第35回日本保健福祉学会学術集会, オンライン, 2022年10月1日.
- 7) 打越友実, 小林理, 新保幸男: ソーシャルワークの倫理的ジレンマに関する研究—自己決定に関する倫理的ジレンマに着目して—. 2022年度一般社団法人日本社会福祉学会関東部会研究大会, オンライン, 2023年3月19日.
- 8) 新保幸男, 打越友実, 赤木拓人, 小林理: 児童虐待への対応に関する検討—保育所・区役所・児童相談所の関係を中心として—. 2022年度一般社団法人日本社会福祉学会関東部会研究大会, オンライン, 2023年3月19日.
- 9) 打越友実 (2022). ソーシャルワークの価値と倫理における「自己決定」の位置づけに関する研究①. 福祉学研究会第21回学術集会要旨集, 5-10, 2022年月11日.
- 10) 打越友実 (2022). 虐待通告をめぐる倫理的ジレンマにおける価値・倫理の位置づけの検討—Dolgoffら(2012)の定義を中心として—. 福祉学研究会第22回学術集会要旨集, 8-9, 2022年4月25日.
- 11) 打越友実 (2022). Dolgoffら(2012)によるソーシャルワークの「価値」と「倫理」の定義に関する考察. 福祉学研究会第23回学術集会要旨集, 24-27, 2022年5月9日.
- 12) 打越友実 (2022). 倫理的ジレンマに関する研究動向. 福祉学研究会第24回学術集会要旨集, 13-17, 2022年5月23日.
- 13) 打越友実 (2022). ソーシャルワークの倫理的ジレンマに関する海外の研究動向①.

- 福祉学研究会第25回学術集会要旨集, 9 - 13, 2022 年 6 月 13 日.
- 14) 打越友実 (2022). ソーシャルワークの倫理的ジレンマに関する海外の研究動向②. 福祉学研究会第26回学術集会要旨集, 4 - 10, 2022 年 6 月 27 日.
  - 15) 打越友実 (2022). ソーシャルワークの倫理的ジレンマに関する研究—文献収集と分析方法を中心として—. 福祉学研究会第27回学術集会要旨集, 3 - 6, 2022 年 7 月 11 日.
  - 16) 打越友実 (2022). ソーシャルワークの倫理的ジレンマに関する研究②—文献収集と分析方法を中心として—. 福祉学研究会第28回学術集会要旨集, 3 - 9, 2022 年 7 月 25 日.
  - 17) 打越友実 (2022). ソーシャルワークの倫理的ジレンマに関する研究③—Akbar (2019) の分析を中心として—. 福祉学研究会第29回学術集会要旨集, 4 - 15, 2022 年 8 月 8 日.
  - 18) 打越友実 (2022). 海外のソーシャルワーク研究に見る倫理的ジレンマの実態と倫理綱領活用法の検討—研究背景や目的を中心として—. 福祉学研究会第30回学術集会要旨集, 7 - 10, 2022 年 8 月 22 日.
  - 19) 打越友実 (2022). 海外の研究動向から見出す倫理的ジレンマに対するソーシャルワークの発展的要素. 福祉学研究会第31回学術集会要旨集, 7 - 12, 2022 年 9 月 12 日.
  - 20) 打越友実 (2022). ソーシャルワークの倫理的ジレンマに関する研究—テキストマイニングによる分析結果への一考察—. 福祉学研究会第32回学術集会要旨集, 5, 2022 年 9 月 26 日.
  - 21) 打越友実 (2022). ソーシャルワークの倫理的ジレンマに関する研究④—Taylor(2006) の分析を中心として—. 福祉学研究会第33回学術集会要旨集, 4-16, 2022 年 10 月 10 日.
  - 22) 打越友実 (2022). ソーシャルワークの倫理的ジレンマに関する研究⑤—「クライアントの最善の利益」と「自己決定の尊重」を中心として—. 福祉学研究会第34回学術集会要旨集, 3-25, 2022 年 10 月 24 日.
  - 23) 打越友実 (2022). ソーシャルワークの倫理的ジレンマに関する研究⑥—「クライアントの最善の利益」と「自己決定の尊重」を中心として—. 福祉学研究会第35回学術集会要旨集, 3-7, 2022 年 11 月 14 日.
  - 24) 打越友実 (2022). ソーシャルワークの倫理的ジレンマに関する研究⑦—学術雑誌 IJSWVEにおける2004年から2006年の収録論文の傾向—. 福祉学研究会第36回学術集会要旨集, 3-10, 2022 年 11 月 28 日.
  - 25) 打越友実 (2022). ソーシャルワークの倫理的ジレンマに関する研究⑧—学術雑誌 IJSWVEにおける2004年から2006年の収録論文の傾向—. 福祉学研究会第37回学術集会要旨集, 5-12, 2022 年 12 月 12 日.
  - 26) 打越友実 (2022). ソーシャルワークの倫理的ジレンマに関する研究⑨—自己決定に関する倫理的ジレンマに着目して—. 福祉学研究会第38回学術集会要旨集, 6-10, 2022 年 12 月 26 日.
  - 27) 打越友実 (2022). ソーシャルワークの倫理的ジレンマに関する研究⑩—自己決定に関する倫理的ジレンマに着目して—. 福祉学研究会第39回学術集会要旨集, 6-13, 2023

年 1 月 9 日.

- 28) 打越友実 (2022). ソーシャルワークの倫理的ジレンマに関する研究①—「クライアントの最善の利益」と「自己決定の尊重」を中心として—. 福祉学研究会第40回学術集会要旨集, 6-26, 2023 年 1 月 23 日.
- 29) 打越友実 (2022). ソーシャルワークの倫理的ジレンマに関する研究①—「クライアントの最善の利益」と「自己決定の尊重」を中心として②—. 福祉学研究会第41回学術集会要旨集, 30-50, 2023 年 2 月 13 日.
- 30) 打越友実 (2022). ソーシャルワークの倫理的ジレンマに関する研究①—「クライアントの最善の利益」と「自己決定の尊重」を中心として③—. 福祉学研究会第42回学術集会要旨集, 4, 2023 年 2 月 27 日.
- 31) 打越友実 (2022). ソーシャルワークの倫理的ジレンマに関する研究①—自己決定に関する倫理的ジレンマに着目して②—. 福祉学研究会第43回学術集会要旨集, 7-31, 2023 年 3 月 13 日.
- 32) 打越友実 (2022). ソーシャルワークの倫理的ジレンマに関する研究①—自己決定に関する倫理的ジレンマに着目して③—. 福祉学研究会第44回学術集会要旨集, 3-13, 2023 年 3 月 26 日.

## 8 学内教育活動

- 1) 学部担当科目: 社会福祉基礎演習 I・II (分担), ソーシャルワーク実習指導 I・II (分担), ヒューマンサービス総合演習 (補助), ソーシャルワークの基盤と専門職 (ゲストとして分担, 2022 年 12 月 16 日, 2023 年 1 月 6 日).
- 2) 実習指導者懇談会・ソーシャルワーク実習報告会の運営, 社会福祉士実習指導者講習会の運営.

## 9 学内各種委員会活動

- 1) 社会福祉学科オープンキャンパス・ミニオープンキャンパスの企画・当日運営.
- 2) 新年度学科別オリエンテーション担当.
- 3) うみかぜ祭, 当日受付補助.
- 4) 学部入試の特別選抜・編入学試験、一般選抜(前期日程・後期日程)における面接会場への誘導業務(2022 年 11 月 23 日, 2023 年 2 月 25 日, 3 月 12 日).
- 5) 大学入学共通テスト試験 の試験官業務(2023 年 1 月 14 日).
- 6) 社会福祉学科 SNS 担当.



## 松田 愛美

### 2 学術論文

- 1) 松田愛美. (2022). 保健医療福祉職におけるサーバントリーダーシップと職務満足. 地域ケアリング, 25(1),34-40.

### 4 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会, 「介護福祉士養成課程における ICT 化推進 (副題: 科学的介護 LIFE の理解と, 科目間連携における汎用性の高い映像教材の作成)」における作業部会委員を担当. 新型コロナウイルス感染症の影響により介護福祉士養成課程において, 従来のような介護実習が困難になっている状況を受け, 介護福祉士養成教育の質を向上できるように, 映像教材を作成した. (2022 年 9 月～2023 年 3 月).

### 5 社会貢献

- 1) オープンキャンパスの企画・責任者として, オープンキャンパスの企画・当日運営を行った, 2022 年 8 月 6 日・7 日.
- 2) 第 20 回かながわ高齢者福祉研究大会において研究発表の審査を担当した, 2022 年 8 月 8 日.
- 3) 令和 3 年度・4 年度(第 16 回)横須賀市地域包括支援センター運営事業評価総評を執筆, 2022 年 12 月 1 日.
- 4) ミニオープンキャンパスの企画・責任者として, 企画・当日運営を行った, 2023 年 3 月 27 日.
- 5) 社会福祉法人ユアアイ 21 小規模多機能型居宅介護事業所太陽の家逸見倶楽部運営推進委員(通年).
- 6) 三浦市社会福祉協議会において, 日常生活自立支援事業契約締結審査会委員(通年).
- 7) 大津地域包括支援センター・地域ケア会議委員(通年).

### 7 学会等での活動

- 1) 第 30 回日本介護福祉学会大会において, 「保健医療福祉職におけるサーバントリーダーシップと職務満足」の研究発表を行った, 2022 年 10 月 9 日.
- 2) 第 12 回ヒューマンサービス研究会においてシンポジストとして登壇した, 2022 年 10 月 30 日.

### 9 学内各種委員会活動

- 1) 卒業・修了式, 入学式実行委員(通年).
- 2) 新年度学科別オリエンテーション担当 (通年).
- 3) 時間割編成ワーキンググループ (通年).
- 4) 学科共同研究室の責任者 (通年).
- 5) 介護福祉士養成校施設協会の運営委員会において神奈川県立保健福祉大学の代表として

活動（通年）.

14 その他

- 1) 社会福祉学科主催「実践交流フォーラム地域共生社会と社会福祉の実践～社会福祉のイノベーションに向けて～」において当日の運営を行った，2022年6月4日.